

2020 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ピックルスコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 宮本 雅弘
 (コード番号 2925 東証第一部)

Pne-12 と FOS による体脂肪および便通・腸内フローラに及ぼす影響についての 研究成果が論文投稿雑誌「薬理と治療」に掲載

株式会社ピックルスコーポレーション（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長 宮本雅弘）は、*Lactobacillus plantarum* PIC-NBN22（Pne-12）とフラクトオリゴ糖（FOS）（※）含有食品における体脂肪および便通・腸内フローラに及ぼす影響の研究を実施しました。この研究成果が、このたび論文投稿雑誌「薬理と治療」（2020 年 第 48 巻 第 2 号、2020 年 2 月 20 日発刊）に掲載されました。

◇論文内容

① 体脂肪低減効果の検証

■タ イ ト ル	<i>Lactobacillus plantarum</i> PIC-NBN22 株とフラクトオリゴ糖の同時摂取による体脂肪低減効果の検証
■目 的	Pne-12 および FOS を同時に継続摂取した際の体脂肪に対する効果を検証する
■試験デザイン	ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験
■検 査 項 目	内臓脂肪面積、皮下脂肪面積、全体脂肪面積、体組成、腹囲
■試 験 期 間	2018 年 4 月 16 日～2018 年 5 月 6 日
■被 験 者	30 歳以上 65 歳未満の BMI23 以上 30 未満の日本国籍をもつ男性および女性 60 名
■結 果	Pne-12 と FOS の摂取により、肥満症を除く肥満境界域にある健常者について、体重値・BMI・CT 検査による体脂肪の群間の有意な減少が確認された

② 便通および腸内細菌叢に及ぼす効果の検証

■タイトル	<i>Lactobacillus plantarum</i> PIC-NBN22 とフラクトオリゴ糖の摂取が便秘傾向の健康成人における便通および腸内細菌叢に及ぼす効果の検証
■目的	Pne-12 および FOS の摂取が、便通および腸内環境に及ぼす影響を評価する
■試験デザイン	ランダム化プラセボ対照二重盲検クロスオーバー比較試験
■検査項目	腸内フローラ、排便回数、排便量、便性状
■試験期間	2018 年 6 月 4 日～2018 年 7 月 29 日
■被験者	20 歳以上 65 歳未満の排便回数が 3～5 回/週程度の日本国籍をもつ男性および女性 30 名
■結果	Pne-12 と FOS の摂取により、排便回数の有意な増加と、糞便中の <i>Bifidobacterium</i> 属の増加傾向が確認された

※ フラクトオリゴ糖とは、難消化性オリゴ糖のひとつ。胃酸やヒト小腸内酵素により消化されることなく大腸に到着し、乳酸菌やビフィズス菌などのいわゆる善玉菌の餌となる。

お問い合わせ先：(株)ピクルスコーポレーション 広報・IR室 TEL. 04-2925-8885

以上